






























チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・社訓や創業者教訓、品質方針、品質目標を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を従業員に説明し目標に向かって取り組んでいる。 ・社員一人ひとりが「伝統を大事に・あるものを大事にし守り続ける」文化が形成されている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・毎年大林組や大手ゼネコンのコンプライアンス研修に参加し従業員への啓発を行っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不適切な利益の供与および受領の禁止について社長自らが責任者となり、会社として公正な取引(仕入先や依頼先への不当な圧力等がない)の重要性を説明し、全社員へ発信している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社長自らを責任者とし、自社の事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)をバリューチェーン分析を用いて把握し、社員へ周知する体制を整備している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・月1回の施工会議により社長から社員へ情報漏洩しないよう指導している。 ・下請けに入る際は図面や施工方法について外部に流出しないよう現場ごとに誓約書を交わしている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・シュレッダーを使用し個人情報の漏洩がないように取り組んでいる。 ・顧客や社員の個人情報の取り扱いについては、鍵付きのキャビネット等に保管している。 ・社員は、入社時に個人情報の取り扱いについての同意書へ署名を行っている。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・2ヵ月に1回大林組や他の大手ゼネコンのブロック会議に参加し安全面や法律改正の情報共有を徹底し、社内で月1回施工会議にて全社員へ共有している。 ・各現場ごとに役所や協力業者と意見交換を実施している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・大林組の「企業倫理研修会」に参加し倫理プログラムの推進に取り組んでいる。 ・CO2排出量の削減については、大林組や大手ゼネコンのサステナビリティレポートに沿うように環境に配慮した取り組みを行っている他、生態系への悪影響の防止についても社員へ問題意識の共有を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCPを策定し、定期的に訓練を実施している。										9		11		13.1		16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17


















チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・施工会議で都度差別やハラスメント防止について発信している。 ・あだ名で呼ばないなど、相手への言葉遣いについて配慮するよう徹底している。 ・女性が働きやすい職場を目指し、社内に育児室を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働規則を策定し朝礼でKY活動、月1回安全衛生教育会を実施、ハーネスの安全訓練による事故防止、安全第一や健康増進への取り組みを促進している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・全員正社員であり、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。 ・技能者には資格や経験に応じた処遇を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・出勤簿の電子化により業務効率化を図り、労働時間の短縮に繋がっている。 ・看護・育児休暇の制度を設けている。 ・事務員については時差勤務を実施することで業務効率化や働き方改革への取り組みを強化している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・建築土木技能士等の資格取得や職業訓練校に関する費用について経費を支給することにより、能力開発を推奨している。 ・大林組へ出向することで知識や大手のノウハウを学んでいる。 ・「監督と職長の心得」をもとに部下の育成や適切なマネジメントを実施できる管理職を育成している。 ・従業員の旅行にて名古屋城へ出向き、実際の現場の視察を行う等、従業員に学びの場を提供している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・朝礼でKY活動、月1回安全衛生教育会を実施、ハーネスの安全訓練による事故防止や健康増進への取り組みを促進している。 ・コロナ対策や熱中症対策を実施し、社員の健康への取り組みを推進している。 ・健康診断の経費補助を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等には資格や経験年数に応じた処遇とし、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・女性の技術者も在籍し、積極的に採用を行う等、女性が働きやすい職場環境を目指している。 ・外国人の雇用があり多様な人材と働ける環境を整備している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・事務職の時差出勤や携帯で出勤簿を管理することで業務効率化を図り、働き方改革を推進している。 ・感染症対策として消毒、検温、パーティションを設置している。 ・ウェブ会議や会議室の換気を徹底している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・出勤簿を携帯で管理することや現場で作成した資料等の共有ができるようクラウドを活用し生産性向上に取り組んでいる。 ・クラウドやボックスを活用し資料の集約や写真の整理の電子化を促進している。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・重要文化財の修復については100～200年先を見据えて施工し、安全性と品質を確保している。 ・大手ゼネコンの品質管理に基づき、サービスや安全性を強化している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・現場では段差解消のためスロープを設置している。 ・工事現場の看板についても外国人の方にもわかるように日本語表記以外の外国語表記も実施している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本城等の文化財修復には熊本県産材、国産材といった地域に適した木材や自然素材(海苔や貝灰)を使用し環境保全と地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・災害発生時に文化財の修復を実施している。 ・地域事業者として公園清掃等のボランティア参加を推奨している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・現場ごとに緊急連絡先や最寄りの病院について掲示し有事の際にはすぐに連絡が出来るようにしている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・現場にAED(自動体外式除細動器)を設置している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1		16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・外部講師を招きSDGsに関する研修を実施し、自社の取り組み内容を社員と共有することにより、社内での教育、普及啓発を行っている。 ・HPIにSDGs専用ページを設け、自社の取り組み内容を発信する事により、SDGsの普及啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・インターンシップの受入れにより、学生に対し学びの場を提供している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学校と連携し地元の学生を積極的に継続雇用している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17